

# 一般会計決算

## 歳入42億9,521万円 歳出40億1,799万円

前年度比 5.2%増(2億1,065万円増) 前年度比 3.0%増(1億1,554万円増)

## 特別会計・企業会計決算

(単位：万円)

会計区分	歳入	前年度比	歳出	前年度比
国民健康保険事業特別会計	168,269	27,059	163,071	29,693
国民健康保険診療所事業特別会計	7,166	846	6,726	727
上水道事業会計	17,049	2,040	14,749	534
寄簡易水道事業特別会計	4,296	119	4,179	33
下水道事業特別会計	35,927	729	35,183	1,917
介護保険事業特別会計	93,659	3,725	88,191	1,959
用地取得特別会計	20,524	11,545	20,517	19,862
後期高齢者医療特別会計	15,859	148	15,426	158
合計	362,749	46,212	348,041	54,882

※1万円未満は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

# 平成27年度 決算概要

平成27年度の松田町一般会計、特別会計、公営企業会計の決算について、町議会第3回定例会で認定されましたので、その概要をお知らせします。

### 予算・決算とは？

「予算」1年間の町の財政計画であると同時に諸政策を定めるもので、毎年、広報まつだ4月号でお知らせしています。  
「決算」実際にお金がどれ程入り(歳入)、何に使ったのか(歳出)をまとめたものです。

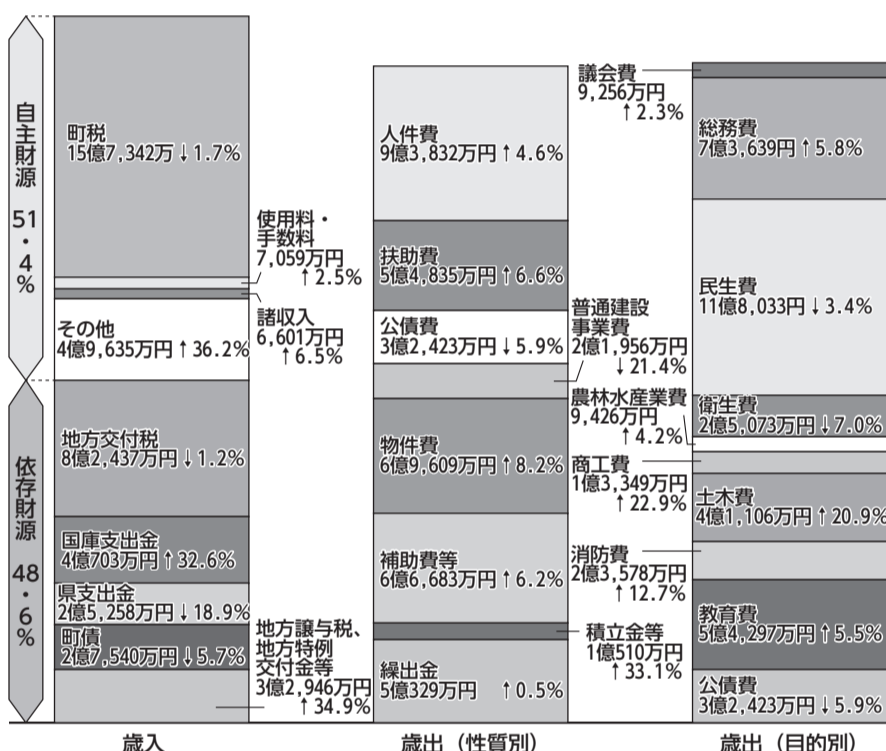
【問い合わせ】政策推進課 財政係 ☎(83) 1222

### 一般会計決算の概要

一般会計の歳入総額は前年度比5.2%増(+2億1,065万円)の42億9,521万円、歳出総額は前年度比3.0%増(+1億1,554万円)の40億1,799万円となり、歳入歳出差引額は2億9,342万円となりました。歳入、歳出の内訳は、左のグラフの通りです。

### 【歳入・歳出の特徴】

歳入では、決算総額の36.7%を占める町税が、前年度より減少しました。これは、町民税のうち法人町民税の地方法人税創設に伴う税率変更などにより減少したことが大きく、固定資産税の評価替えによる影響と併せて減少となりました。また、社会資本整備総合交付金や地方創生に係る地域住民生活等緊急



- ↑↓は前年度対比を表しています。
- 金額は1万円未満を四捨五入しているため合計が一致しない場合があります。
- 性質別決算とは、支出を経済的性質によって分類したものです。また、目的別決算とは、支出を目的によって分類したものです。

### 特別会計・企業会計 決算の概要

町では、一般会計の他に7つの特別会計と1つの公営企業会計を設けて事業を行っています。それぞれの会計の決算と事業の概要は、次のとおりです。

■国民健康保険事業特別会計  
自営業の方や会社を退職した方などのための国民健康保険を運営しています。平成27年度決算の内訳では、保険税が全体の18.0%あまりを占め、その他を国庫支出金や一般会計からの繰入金で賄っています。  
被保険者が保険税を納期内に納めていただくこと、そして一人一人が自分の健康と医療費に関心を持ち、医療費の節減に努めることにより、健全な国民健康保険制度を運用することができま

■国民健康保険診療所事業特別会計  
平成27年度の寄診療所では、239日間で述べ7330人を診療しました。その内、後期高齢者医療被保険者が43%を占めています。  
診療収入が主な収入となる歳入決算は、前年度比13.4%増となり、また、医薬品代などが主な支出となる歳出決算は、前年度比12.1%の増となりました。

■上水道事業会計  
収益的収支※1  
収入 1億3302万円  
支出 1億1002万円  
資本的収支※2  
収入 1億635万円  
支出 3億747万円

9087人の住民(給水人口)に対し良質な水を安定的に供給するため、水道施設の更新、維持管理を行いました。  
平成27年度の給水収益(水道使用料)は前年度比2.3%減となり、営業収益は前年度比2.1%減となりました。長期前受金戻入により営業外収益は前年度比148.4%増となり、水道事業収益は前年度比12.0%増となりました。  
支出については、引き続きコストの縮減・合理化に努め、前年度比1.3%減となり、当年度純利益1646万余円を計上するに至りました。  
平成27年度決算での経常費用から求めた給水原価は、1mあたり98.0円で、水を給水したときの収入額から算出した供給単価は、1mあたり84.0円になりました。

※1 水道料金などを主な収入とし、支出は動力費、機械や建物などの減価償却費、職員の人件費、企業債の利子支払いなどです。  
※2 主な収入は企業債の借入れなどで、支出は建設改良費や企業債の元金償還などです。収支の不足額は、全額損益勘定留保資金などで補っています。

■寄簡易水道事業特別会計  
寄地区(湯の沢を除く)に対し良質な水を安定的に供給するため、水道施設の更新、維持管理を行いました。  
配水管の敷設替工事やポンプ更新工事を行い、そのための借入れを行ったことなどにより、歳入、歳出ともに昨年度より増しました。

平成27年度決算での経常費用から求めた給水原価は、1mあたり140.1円で、水を供給したときの収入額から算出した供給単価は、1mあたり86.1円になりました。